

# 議会だより

VOL. 82

3月定例会の情報をお伝えします



● 定例会 .....	2
● 年次計画 .....	9
● 予算・政策要望(回答) .....	10
● 一般質問 .....	11
● 私の提案 .....	19
● 学ぶ議会 .....	20
● 広域連合報告 .....	22
● モニターアンケート .....	23

飯綱町  
「議会だより」の  
バックナンバーを  
下記QRから  
ご覧いただけます



✓

令和  
8  
年度

# 一般会計予算を可決

総額92億9,000万円  
前年度比マイナス1億9,000万円

定例会

3月定例会は3月2日から24日までの23日間の会期で開催し、令和7年度補正予算、8年度一般会計予算、特別会計予算、条例改正等33議案を審議し、原案どおり可決した。

多くの自治体で予算が過去最大を更新する中、緊急性や効率性を考慮して町長が掲げる「暮らし最優先予算」の適正な執行を、議会として注視していく。

## その他 29.2%

27億1,723万7,000円

- 人件費
- 公債費
- 内部の管理事業など

## 安全・基盤 27.6%

25億6,858万9,000円

- 暮らしを支える生活機能の維持・継承
- 地域の防災力・防犯力の維持・向上
- 将来にわたり持続可能な行政運営
- デジタル化の推進

## 自然・環境 1.7%

1億5,785万6,000円

- 良好な自然環境や景観の次代への継承
- 自然の恵みの享受と環境への負荷軽減

## 移住・交流 2.4%

2億2,514万4,000円

- 移住・定住の推進
- 都市との交流・国際交流の推進
- 誰もがあらゆる分野でいきいきと活躍できる環境づくり
- 町の魅力を広げる情報発信の推進

## 安心・健康・福祉 21.9%

20億3,077万3,000円

- 切れ目ない子育て・子育て支援
- 誰もが安心していきいきと暮らすことができる社会の実現
- 安心して暮らせる健康づくりの推進
- 拠点をつなぐ交通ネットワークの充実

## 産業・観光 7.1%

6億5,609万8,000円

- 儲かる農業の推進
- 商工業振興によるにぎわいのあるまちづくりの推進
- 町の魅力を活かした観光まちづくりの推進

## 学び 10.1%

9億3,430万3,000円

- 安心・安全で「生きる力」を育む教育環境づくり
- スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承
- 多様な学びの機会の創出と生涯学習の推進

Q しのの鉄道の車両更新や検査費用に関する補助の

5件予算計上している。

A 既存リフォーム補助で例年10件程度の実績がある。需要拡大の可能性を見込み

Q 二拠点同居リフォーム補助金の見込み件数は。

A 既存リフォーム補助で例年10件程度の実績がある。需要拡大の可能性を見込み5件予算計上している。

Q 旧村の区、組の構成に違いがあるが、活動費の配分に問題はないか。

A 合併後、統一を図っており問題はないが、年数が経過し、区、組の規模も変化しているため、今後、基準の見直しも検討する必要があると考えている。

Q 令和7年度は新役員への地域課題の共有、配布物削減による負担軽減を行ってきた。令和8年度は行政

Q 地域の役員等担い手不足に対する支援策の、実施状況と計画は。

A 令和7年度は新役員への地域課題の共有、配布物削減による負担軽減を行ってきた。令和8年度は行政

Q 安心・安全で「生きる力」を育む教育環境づくり

Q スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承

Q 多様な学びの機会の創出と生涯学習の推進

総務費

(議案第24号)可決

一般会計予算

## 算出基準は。

**A** しのの鉄道の設立時の出資割合により算出されており、飯綱町は5・2%を負担している。

**Q** 導入予定の証明書のコンビニ交付について1通あたりの行政コストは。

**A** 月100通とすれば1通2750円となり、単純に単価計算すれば高額となるが、土日含め朝から晩まで利用いただけるという利便性を重視している。

## 民生費

**Q** 結婚相談事業の成果は。

**A** 令和6年度は登録者数が男性27名、女性16名で成婚者数は1組である。

**Q** りんごっこ子保育園の遊具は20年以上経過しているが、修繕の計画は。

**A** 遊具の点検は毎年行っている。令和8年度には、使用点検で指摘されたすべり台、アーチ、チェーンネットの修繕を行う。

**Q** 保育園給食費5496万円の財源は。

**A** ふるさと応援基金※を繰り入れている。



発行手数料は従来と同じ。令和9年1月から開始予定。

※ふるさと応援基金とは、ふるさと納税の一部を積み立てたもの。

**Q** 「みつどんのお家」の利用の推移は。

**A** 令和7年度の利用者数は前年度を超える見込みである。また、ワークセンターの利用者数は前年度並みとなる見込みで月80人前後の利用がある。前年度との違いは町内利用者が多く、要因としては移住者の方の利用が多くあったため。

**Q** 「みつどんのお家」の利用対象は未就園児のみだが、小学生もいる家庭の場合、臨機応変な対応は。

**A** 未就園児と保護者が他

の同世代の利用者と交流を深め、悩みごとなど相談できる施設であり、現状では小学生の受入れは考えていない。外の遊具等で遊んで



「みつどんのお家」子育て世代支援施設

もらうなどの対応をしている。

**Q** 訪問支援員事業とは。また利用実績は。

**A** 妊婦や子育て家庭等に日常的な家事と育児の支援が受けられる。現在、町では町外の委託業者2社に依頼し、派遣を行っている。

令和6年度は5名の利用者が120回238時間の利用があった。令和7年度は2月末現在で登録者8名、利用者4名、34回66時間の利用である。

**Q** 保育園の給食にご飯を持っていくことについて保護者から意見があるが。

**A** 数年前から要望があるが、給食室に機材の入るスペースがなく、炊飯窯の費用も1000万円ほどかかるためすぐには対応が難しい状況である。

**Q** 町外保育園への保育委託料を支払っている人数や状況は。

**A** 3家族程度で1名あたり200万円。両親の就労先が町外

にある広域利用保育の利用者である。

## 衛生費

**Q** 資源ごみのビン・缶の収入は。

**A** 北信保健衛生施設組合の収入になり、町に請求される分担金に反映される。金属類では1400万円、ペットボトル再商品化等に伴う拠出金で300万円、合計1700万円程が収入となっている。ビン類は再商品化の費用負担があり、収入に至っていない。

## 農林水産業費

**Q** 荒廃農地防止のために、農地中間管理機構は重要だが。

**A** 当初の目的は、農地所有者から機構が借受け、担い手へ集約することであるが、担い手が少ない状況で本来の機能が発揮できていないことは承知している。全国的な制度なので、国等へ引き続き要望を上げている。

町では町内外の担い手や新規参入者が借受け農地を

探しやすいよう、貸したい農地の情報をネット上に公表する町独自の「農地マッチングシステム」を実施予定であり、新たな荒廃地の発生防止も図っていく。

**Q 農業機械購入補助金の利用状況は。**

**A** 今年度、多くの農業者に利用していただき、当初予算では不足する状況となったため、補正予算対応をした。

**Q 有害鳥獣処理施設での年間処理頭数、施設内容、臭気、排水対策は。**

**A** 有害鳥獣駆除期間における処理頭数は100頭程度を見込み、1・5坪タイプの冷凍庫を設置予定である。解体の過程で発生する血液等は公共下水道に排水されるため、臭気の発生は抑えられると考えている。

商工費

**Q 霊仙寺湖周辺で計画しているスポーツ交流拠点施設整備事業費の算出根拠は。**

**A** 長野市、富山県射水市など複数の事例を参考にした。また、長野市のスポー



霊仙寺湖畔のテニスコートとグラウンドをサッカー場に。

ツ施設整備事業の設計業者に事業費の積算見積を行っている。

この事業については国庫補助金の活用を想定し、補助対象額として最大20億円を見込む中で、その金額を上限に計画を立てている。

町としては身の丈にあった施設整備を計画していくこととしており、当初見込み

より大幅に事業費が増えるような場合は、見直しや縮小など慎重且つ柔軟に対応していく。

**Q 店舗等リフォーム支援補助金の執行率は。**

**A** 今年度から新たに創設された補助金ということもあり、予算計上額のほぼ全額が執行されている状況。

**Q アップルミュージアムの企画展収入金額の見込額が減少している。その理由は。**

**A** 企画展は収益を上げるのではなく、多くの方にアップル

ミュージアムに足を運んでいただき、広く町民の皆様にご利用いただくことを目的としている。企画展にはより多くの方に来館いただきたいことから、入館料をできるだけ廉価に設定することや、学生割なども検討したいと考え、収入額を減少して計上した。

土木費

**Q 町単工事の予算不足に対し、ふるさと納税の一部財源の活用を。**

**A** ふるさと納税の財源用途の権限は町長にある。理事者や関係部署と相談し、予算活用を求めていく。また、住民からの要望も多いことは承知しており、必要に応じ補正予算での対応も考えていきたい。

消防費

**Q 消防団員報酬、団員数の状況は。**

**A** 報酬は、国の標準額に基づき予算措置をしている。団員数は、条例定数485人に対し436人である。団員確保のための対応策として、機別団員を導入するなどしている。

教育費

**Q 学校給食の食材費25%増のイメージは。**

**A** 物価高は3年ほど前から続いている。今までは安価な食材への変更などを行い、食材費を節約する努力

をしてきたが、使用したかった食材を使えるようにしていきたい。

**Q ブックスタート事業でセカンドブック、サードブックがなくなった理由は。**

**A** 予算のメリハリをつけていきたいと考えている。図書室も新しくなったこともあり、図書室に足を運んでもらえるような仕組みを考えていきたい。

**Q 町民会館図書室司書の現状はどうか。**

**A** 現在町民会館の職員が対応している。子ども図書室にカウンターがあり、電話やPCケーブルを引き込んでおり、可能な限りそこで業務を行ってもらうことを考えている。

**Q 部活動の地域移行で、送迎の手段を持たない家庭への支援についての考えは。**

**A** 現状は9クラブが中学校で活動している。町内で活動する場合は、自宅に帰ることなく学校で過ごせる仕組みを作っている。

バレー部、野球部、バスケット部は信濃中、豊野中と合同チームで活動し、スクー



部活動に町の移動支援を利用する信濃小中学校の生徒たち

ルバスによる送迎を行っている。

**Q** 部活動のコーディネーターの時間が増えるのか。

**A** 予算上、今までは週3回だが、週5回になる。

賛成討論

伊藤まゆみ

町民の声や日本共産党飯綱町委員会が提出した予算と施策の要望書の内容も反映され、安心安全で持続可

能なまちづくりへ町長の思いのこもった予算だ。

風間行男

不安定な中東情勢から、あらゆる物の物価上昇等が町の予算執行に影響を及ぼす可能性がある。できる限り原案に近い予算での執行を期待する。

今後の町政運営に必要最小限の予算に賛成する。

西林薫

サッカー場整備は必要性維持管理、環境影響など丁寧な説明をし、慎重に進めることを期待する。

ブックスタート事業は家庭教育支援事業として継続の検討を求める。

特別会計予算

令和8年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計予算

(議案第26号―可決)

**Q** 年間の利用者及びスタッフの人数、季節的な変動は。

**A** 令和8年1月現在の利用者数は99名。スタッフは看護師6名、ケアマネー

ジャー2名、事務員1名の計9名。季節的な変動は少ない。

**Q** スタッフ1名の募集で不足分を補えるか。

**A** 在宅での看取りなど、昼夜問わず頻回に訪問依頼があり、時間外労働が増している。人手が不足している時期もあったことから、先を見越して募集している。

令和8年度飯綱町国民健康保険事業特別会計予算

(議案第27号―可決)

**Q** 現在の税率で、納付金の財源を集めることができるのか。

**A** 令和8年2月末現在、納付金に対し4800万円不足するが、低所得世帯に対する保険税軽減分を国・県・町で補填する制度の負担金を充てる。国保税は出産育児一時金、葬祭費、保健事業も賄うべきもの。その支出分も考慮すると今の税率では財源が不足する。

**Q** 国保の財政調整基金で、今後運営できるのか。

**A** 財政不足に伴う基金の繰入は平成30年度以降行われていない。今後、繰越金

で対応できない場合は、まず基金の繰入を検討する。

国保税率・税額の改定を検討する際には、被保険者の急激な負担増を避けるため、繰越金や基金の活用を十分に検討したうえで議論を進める。

※国民健康保険財政調整基金とは、各市町村(保険者)が将来の医療費増大や急激な保険料上昇を避けるために、独自に積み立てている基金。

令和8年度飯綱町後期高齢者医療特別会計予算

(議案第28号―可決)

**Q** 後期高齢の保険料率にある基礎課税額の所得割合が減った理由は。

**A** 被保険者の年金所得の伸び率を考慮して算定した結果、下がった。

反対討論

伊藤まゆみ

創設時から加入者や医療費の増加で、保険料が引き上げられる制度設計になっている。来年度の改定でも保険料が引き上げられ、年金受給者が大半の高齢者は、苦しい生活を強いられている。

### 令和8年度飯綱町介護保険事業特別会計予算

(議案第29号—可決)

**Q** 認定調査等に携わる会計年度任用職員の数が増えるが、対応に問題はありますか。

**A** 過去の調査件数から算出し、職員2名で対応可能と判断した。調査件数が多い月は、地域包括支援センターの職員が対応できるように調整を進める。また、地域包括ケアセンターは、新たに常勤職員を配置する見込みである。

### 企業会計予算

#### 令和8年度飯綱町水道事業会計予算

(議案第32号—可決)

**Q** 水道有収率(※)が68.35%と低い状況であるが、これを改善する計画は。

**A** 老朽化した水道管を対処療法的に修繕対応しているが、基本計画に基づいて計画的に更新し、有収率向上に向けて取り組んでいく。三水地区では下水道導入時に併せて水道管も更新してきた経緯があり、牟礼地区

と比較すると有収率が高い状況である。

※水道有収率とは、浄水場から送り出した総配水量のうち、料金収入につながった水量の割合。数値が高いほど漏水が少なく、経営効率が良い指標となる。

#### 令和8年度飯綱町病院事業会計予算

(議案第33号—可決)

**Q** 新しい小児科の医師の着任はいつの予定か。

**A** 調整中であるが10月1日開始予定としている。

**Q** 外科医師1名が3月末で退任し、2名体制になるが今後の見通しは。

**A** 外科医師の招へいを行っているが、全体的に外科医師が減少傾向であり苦慮している。

**Q** 病床再編にあたって地域包括ケア病床が新設されたが、病床の利用率と今後の見通しは。

**A** 令和8年1月の病床の利用率は、地域包括ケア病床91・6%、療養病床94・2%、一般病床82・6%で、全体として87・7%となっている。

病床再編前より入院単価

は上がっている。病床の機能に分けたベッドコントロールをすることで、医療の質を上げつつ単価も上げるといふことには成功していると言える。

**Q** 病床再編により4階が空いている状況だが、今後の利用の見通しは。

**A** 病院建設に利用した補

助金の関係で、目的外利用が禁止されている。病院事業の検討委員会や町民の意見を募るなど、公平性を保ちながら考えていきたい。

**Q** 長期的な計画は。

**A** 令和7年度に長期修繕計画を立てたが、A・B・C棟をすべて修繕していくのは現実的でないという理事者の指摘から、基本構想を練り直すことになった。近隣の病院建設の事例を参考に、令和8年度中に進め方の目的を立っていたい。

#### 令和8年度飯綱町下水道事業会計予算

(議案第34号—可決)

**Q** 機械や装置が耐用年数を超えるものが増えている可能性は。

**A** 構築物や車両運搬具などについて耐用年数を超えたものはないと認識している。機械や装置については一部耐用年数を超えたものがある可能性があり、修繕

費がかさむ状況にある。保守・修繕が重要な局面に入っている。

### 条例

#### 飯綱町中小企業・小規模企業振興基本条例

(議案第13号—可決)

地域の発展に向けて地域社会全体が一体となった取組の基盤となる理念を共有することが求められている。振興施策を総合的に推進するための基本的な考え方を、拘束力や罰則等のない理念条例として明文化するもの。

#### 飯綱町空家等対策に関する条例

(議案第14号—可決)

所有者等に対し、生活環境の保全を図るために必要な措置を講ずるよう指導するもの。また、空家等が生命や財産に重大な危害を及ぼす恐れがある場合に、危害を避けるための必要な措置を講ずることができるもの。

**Q** 危険な空き家の件数は。地権者と連絡が取れない場合に緊急措置が可能か。



小児科医の着任が待たれる飯綱病院

**A** 令和6年の空家実態調査では326件の空き家と思われる建物が確認され、そのうち30件が倒壊等の危険性がある状態である。この条例により、地権者と連絡が取れる、取れないに関わらず緊急措置として屋根トタンの飛散防止などの必要最小限の対応が可能となる。  
**飯綱町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**  
 (議案第15号―可決)  
 こども誰でも通園制度が創設されることから、所要の条例整備をしようとするもの。  
**飯綱町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例**  
 (議案第16号―可決)  
 こども誰でも通園制度事業を実施する事業所が給付対象になるための必要な基準を定めた条例を制定するもの。  
**飯綱町行政手続条例の一部を改正する条例**  
 (議案第17号―可決)  
 不利益処分をしようとする場合に、不特定多数の者

が閲覧することができている状態に置く措置を規定するもの。  
**飯綱町職員定数条例の一部を改正する条例**  
 (議案第18号―可決)  
 子ども家庭センターの新設に伴い、社会福祉士の配置等で定員を20人から22人に、保育充実のための保育士増員に伴い、定員を30人から36人に増員するもの。  
**飯綱町基金条例の一部を改正する条例**  
 (議案第19号―可決)  
 飯綱町長野県宿泊税基金の設置に伴うもの。  
**飯綱町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例**  
 (議案第20号―可決)  
 非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額の改正を行うもの。  
**飯綱町営住宅条例の一部を改正する条例**  
 (議案第21号―可決)  
 教職員住宅の廃止に伴い、町営住宅へ移管したうえで追加するもの。  
**第5期飯綱町地域福祉計画の策定について**  
 (議案第39号―可決)

第4期飯綱町地域福祉計画期間満了に伴い、第5期飯綱町地域福祉計画を策定するもの。

**Q 高齢者の交通手段について、具体的な取組は。**

**A** 移動ニーズの多様化により、公共交通だけでなく福祉的な役割や住民との連携によるきめ細やかな移動サービスの展開を目指し、「タクシー配車」の活用や「ライドシェア」の仕組みの構築等を推進していきたい。

人事案件

**副町長の選任について**  
 (議案第42号―同意)

副町長 徳永裕二氏



賛成討論

小林一成

豊かな行政経験と確かな実績をもつ徳永氏は、柔和で職員の信頼も厚く、住民目線で考える人である。

**教育委員会教育長の任命について**  
 (議案第43号―同意)

教育長 松谷かおる氏



陳情

**「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情**  
 (陳情第3号―不採択)

陳情者 長野県労働組合連合会 議長 細尾俊彦

最低賃金法を全国一律制度に改正すること、最低賃金1700円を実現すること、賃上げのための支援を国の義務とすることを求めるもの。

賛成討論

伊藤まゆみ

中東で戦争状態となっており、今後も物価高が続くことが懸念される。非正規やアルバイトで生計を支えている人々にとっては、本当に厳しい日々が続いている。憲法第25条に鑑み、実現されるべきだ。

発議

**最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書案**  
 (発議第1号―否決)

提出者 伊藤まゆみ

賛成討論

吉澤裕昭

コロナ禍以降の最低時給の急上昇は、中小企業や個人事業主の経営圧迫が深刻である。雇用主だけでなく、雇用される労働者の生活を守るためにも国への支援要請は必要であると考える。

令和8年3月定例会賛否一覧 (○賛成 ●反対)

種別	議案名	表決結果	丸山麻衣子	飯田安彦	西林薫	本郷華子	清水寿彦	山崎雄一	吉澤裕昭	近藤正	小林一成	風間行男	清水満	伊藤まゆみ	宮本隆之	瀧野良枝
議案第12号	長野広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	飯綱町中小企業・小規模企業振興基本条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第14号	飯綱町空家等対策に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第15号	飯綱町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第16号	飯綱町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第17号	飯綱町行政手続条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第18号	飯綱町職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第19号	飯綱町基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第20号	飯綱町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第21号	飯綱町営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第22号	令和7年度飯綱町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第23号	令和7年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第24号	令和8年度飯綱町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第25号	令和8年度飯綱町からまつの丘地区汚水処理場管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第26号	令和8年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第27号	令和8年度飯綱町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第28号	令和8年度飯綱町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	●	○	-
議案第29号	令和8年度飯綱町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第30号	令和8年度飯綱町住宅地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第31号	令和8年度飯綱町小水力発電事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第32号	令和8年度飯綱町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第33号	令和8年度飯綱町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第34号	令和8年度飯綱町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第35号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第36号	工事変更請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第37号	飯綱町過疎地域持続的発展計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第38号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第39号	第5期飯綱町地域福祉計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第40号	町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第41号	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第43号	教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第44号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
陳情第1号	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	継続審査														-
陳情第3号	「最低賃金の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	●	●	○	●	○	●	○	欠	●	●	●	○	●	-
発議第1号	最低賃金の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書案	否決	●	●	○	●	○	●	○	欠	●	●	●	○	●	-

賛否表

# 信頼される議会を目指して

事業計画とは、飯綱町議会の未来像や課題解決、どのような議会にしていくのか方向性を示すものです。

## ① 広報広聴活動の強化

- 各委員会による町民、各種団体との意見交換会・懇談会を実施していきます。
  - 広報と広聴を議会の中核機能として強化し、住民との双方向コミュニケーションを高めま
- す。具体的には、現在の議会報編集調査特別委員会を、常任委員会として位置付けることを検討する取組です。先進地視察、学習会を実施していきます。

## ② 議員研修の充実

- 議会の判断力・説明力・政策形成力を高め、住民に信頼される議会をつくる基盤整備のための取組です。各委員会ごとの町内・県内施設の視察、テーマ別先進地視察等を実施します。



年次計画

## ③ 政策提言活動の推進

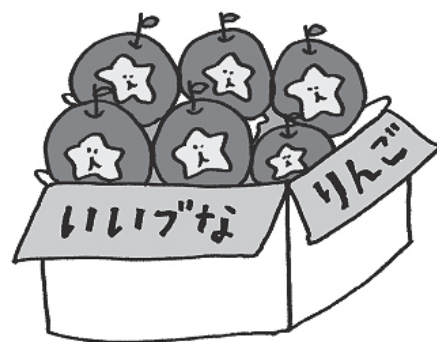
- 町に対し「予算・政策要望書」を提出します。「予算・政策要望書」とは、予算編成に向けて議会として町に要望を出すものです。令和8年9月までに議会としてとりまとめ、提出する予定です。

※P10では、令和7年度に議会から提出された「予算・政策要望書」への回答を抜粋して掲載しています。

- その他、長野建設事務所による現地視察の実施や政策サポーターとの政策提言を行います。

### その他

- ・ 町民講座の開催
- ・ 小・中・高校での地方自治学習への協力
- ・ 出前講座の対応
- ・ 飯綱町議会白書の発行
- ・ 行政視察の受入対応
- ・ 近隣市町村との連携



# 予算・政策要望への回答(抜粋)

※ 議会として令和7年9月に提出した要望書への回答を記載します。

● スポーツ活動の推進・文化芸術の創造と継承  
誰もがスポーツに親しめる環境整備

住民ニーズの多様化に対応するため、住民主体のスポーツ振興組織や協力体制を構築し、リーダー育成に注力しながら、誰もが気軽に参加できる環境づくりときっかけづくりに努めること。

【回答】 産業観光課

近年のスポーツ需要を分析すると、特にサッカー人口の増加傾向が見られることから、多目的グラウンド及びテニスコートにサッカー場を核としたスポーツ交流拠点施設の整備を進めます。また、地域住民が主体となるスポーツ環境づくりと、住民同士の交流を促進する仕組みを構築するとともに、地域指導者の育成にも力を入れることで、幅広い年代に対応した気軽に参加できる環境を提供していきます。

● 儲かる農業の推進  
農業経営基盤の強化・持続可能な経営支援

農業従事者の高齢化等により援農の需要が高まっていることから、助っ人クラブと飯綱町人材センター等の組織強化をして幅広く援農支援の充実を図ること。

【回答】 産業観光課

町では町内の援農組織である助っ人クラブや飯綱町人材センターへ補助金等の支援を実施しています。また、援農者向けの作業技術講座(仮称)「援農スクール」を開設する計画です。その他、援農組織の人材を充実させるため、地域に潜在する人材の確保に向けて様々な方策を講じていきます。



● 暮らしを支える  
生活基盤の維持・継承  
生活の基盤となる上下水道の整備・維持管理

上下水道は安定した運営ができるよう、長期的な視点に立った施設の更新、整備を進めるほか、定められた料金体系を都度検証していくこと。

【回答】 建設水道課

将来を見据えた適正な料金体系を検討するため上水道事業は、長期基本計画に基づき令和21年度までの投資財政計画を策定しました。下水道事業は経営戦略の見直しを行い令和13年度までの経営戦略の改定を行いました。安定した運営のためには、投資と財政の均衡が不可欠です。適正な料金体系を反映した経営戦略の改定に向けて、上水道事業では令和6年度、下水道計画では令和7年度に経営戦略の改定を計画しています。

● 安心して暮らせる  
健康づくりの推進  
飯綱病院の医療体制の充実

地域医療を支える飯綱病院においては、経営強化プランの確実な実施とともに、医師、看護師、薬剤師を確保し、更なる医療体制の構築に努めること。

【回答】 飯綱病院

計画的なベッドコントロールにより病床利用率を確保し、急性期、回復期、慢性期機能を効果的に活用し、入院医療の質を高め経営強化プランを確実に実施していくことで経営の健全化を実現します。また、職員の労働環境を整備し、内部からも病院機能を高める工夫を行い、財源、人材確保に努め、質が高く持続可能な地域医療の提供に努めます。



<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野広域連合次期一般廃棄物最終処分場計画について</li> <li>・ナラ枯れ被害への対応について</li> <li>・国の小学校給食費の無償化を端緒とする町の子育て支援のあり方について</li> </ul>	近藤 正 <small>こんどう ただし</small>	12 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ・雑草の堆肥化による地域循環づくりについて</li> <li>・除雪車オペレーター不足に対する取組について</li> </ul>	宮本 隆之 <small>みやもと たかゆき</small>	13 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館図書室の今後のあり方について</li> <li>・放課後児童クラブについて</li> </ul>	西林 薫 <small>にしばやし かおる</small>	14 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的交流施設における指定管理者制度の運用について</li> <li>・多目的交流施設に係る管理体制について</li> </ul>	飯田 安彦 <small>いいた やすひこ</small>	15 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に入園できない家庭への支援について</li> <li>・「特別利用保育」に保育短時間の利用時間を基準とした月額料金設定について</li> <li>・教育委員会点検・評価報告書における子ども視点の評価について</li> <li>・子育て支援に関わる制度等を所管する組織再編の検討について</li> </ul>	丸山 麻衣子 <small>まるやま まいこ</small>	16 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が安心して住み続けるためには</li> <li>・来年度予算の重要項目は</li> </ul>	伊藤 まゆみ <small>いとう まゆみ</small>	17 ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯綱町の財政状況と将来の見通し及び農業の所得向上を</li> <li>・財政戦略の柱にする考えについて</li> <li>・霊仙寺湖周辺の運動場建設事業について</li> </ul>	山崎 雄一 <small>やまざき ゆういち</small>	18 ページ

- ・一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
- ・一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- ・一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



## 傍聴席

すぐそばにある議会・  
行政を願って



井澤 純一さん  
(野村上)

『議会見に行こうかな』妻に言った自分が驚きでした。昨年思いがけず町長選挙に関係する事になり、町の事や行政について考える機会がありました。『新しい町長と議員が創る議会を肌で感じてみたい』初めて傍聴させていただきました。自分の中の議会というと、権力争いと噛み合わない議論に足の引っ張り合い、マイナスのイメージしかありませんでした。ところが飯綱町議会にあったのは議員と行政が両輪となり町の課題に向き合う姿でした。たまたまだったのかもしれませんが、でも心強いなと思いました。僕もそうですが、声に出したい思いはあっても『手続きが…どうせ…』そう思っている方は多いと思います。その声にならない声を引き上げ、代弁してくれる力を持つている議員議会であってほしいと感じました。中学校で教えられた『地方自治は民主主義の学校です』その言葉の意味が少しわかった気がしました。次は六月、皆で議会に行ってみましょう。



# 広域連合次期一般廃棄物最終処分場計画

## 「再検討」に対する、町の対応は

町長

5月20日に広域連合と連携しながら、全町民を対象とした説明会及び学習の場を設ける

**近藤** 最終処分場計画が建設の要否を含め再検討となった中、町の認識と今後の関わり方は、町長 長野広域連合では、ごみ処理の状況変化により前提条件を含め再検討することとなった。今後、理事者会等の場において町として

### 最終処分場計画の再検討と町の対応



近藤 正 議員

一般質問

【表2】焼却施設から発生する副生成物の最終処分方法と今後の可能性(変化2～変化5関係)

発生する副生成物	最終処分方法	今後の可能性
焼却灰	資源化	資源化を継続
ばいじん	(除じん飛灰)	資源化を継続
	(反応飛灰処理物)	埋立て(外部委託)
溶融飛灰	資源化	資源化を継続
溶融スラグ	資源化・一部埋立て	全量を資源化
溶融不適物	埋立て	資源化
磁選物(鉄など)	売却	売却
溶融メタル	売却	売却

一般廃棄物最終処分場の現状と今後の見込み  
(長野広域連合HPより)

しっかりと意見を出していく。  
**近藤** 仮に来年2月の段階で建設が必要と判断された場合の対応は、  
**町長** その場合は、埋め立て品目や規模を縮小した計画が示されると考えている。町としては、地元地域の合意形成が整った場合に限り受け入れることができるという基本姿勢が変わりはない。

### ナラ枯れ対策の強化

**近藤** 町内で拡大するナラ枯れ被害の現状認識と対応は。

**産業観光課長** 被害は約8000本、41haに及び極めて深刻であり、町内全域に拡大している。優先順位を付けた伐倒駆除を進めるとともに、国・県と連携し対策を強化していく。

**近藤** 倒木の危険や観光・水源への影響も大きく、現体制では限界と考える。財

**町長** 特別交付税の活用な



ナラ枯れ被害状況の確認作業(2月9日飯綱リゾートスキー場内)

ども含め財源確保に努め、関係部署が連携した体制づくりを検討する。

### 給食費と子育て支援

**近藤** 小学校無償化の財源を踏まえ、中学校までの無償化に踏み込めないか。

**町長** 小学校無償化と食材費の25%引き上げを実施する。中学校は補助率を現行の50%から60%に引き上げ、負担軽減を図る。無償化については国の動向を見ながら判断する。



# 生ごみ・雑草の堆肥化による 地域内循環を

**町長** | 当面は家庭など小規模な循環モデルで取り組む

一般質問



生ごみは次の作物を育てる大切な資源

宮本 隆之 議員



## 地域資源を生かす 循環モデルの構築を

**宮本** 現在の生ごみの処理費用は。

**住民環境課長** 可燃ごみ中の生ごみ相当分（比率により計算）の処理費は年間約2580万円。人口減少が進む中でもごみ減量は十分

に進んでおらず、生ごみ資源化を含めた新たな減量施策の検討が必要。

**宮本** 山際や道路沿いの除草は、鳥獣害対策や交通安全の確保、里山環境の保全にも効果があるが、町の所見は。

**町長** 人口減少や高齢化により作業の担い手不足が課題となっており、大型機械の活用など効率的な管理方法も研究していく。

**宮本** 堆肥化の取り組みをモデル地区で実践しては。

**町長** 生ごみ・雑草の収集体制や堆肥場管理人材の確保など課題がある。当面は家庭や有志レベルでの小規模な循環モデルからスタートで取り組む。

**宮本** 広報活動を通じて住

民参加を促し、地域資源を生かした循環型のまちづくりを進めてほしい。本取り組みをSDGsにどう位置づけるか。

**町長** この取り組みはSDGsの「住み続けられるまちづくり」、「つくる責任・つかう責任」、「気候変動への対応」、「陸上資源の保全」などの理念にも合致し、自然と共生する町の将来像につながる施策である。

## 中長期的な除雪体制の確保が必要

**宮本** 冬季の生活を支える除雪体制について、除雪車オペレーターは実人数で何人か、その内60歳以上は何人か。

**建設水道課長** 今シーズンの除雪オペレーターは54人。このうち60歳以上は21人で約38・9%を占める。30〜50代が約6割を占めているものの、近隣自治体でも人材確保は共通の課題となっている。

**宮本** 今後5〜10年の間に主力世代の退職が進めば体制維持が難しくなる可能性

がある。農業・林業従事者や元建設業従事者など、地域の地理に詳しい人材を町が関与して掘り起こす仕組みの検討を。

**町長** 若手農業者などにとって冬の収入確保にもつながる。資格取得支援制度の研究や町内団体との意見交換の場を設けたい。また、移住者や町内企業に勤める若者からの従事希望もあり、このような町民の意欲を大切にす。総じて中長期的な除雪の体制づくりを進めていく。



町民の生命と暮らしを支えている除雪作業



# 町民会館の公民館図書室に 専任のスタッフを

町長

専任の担当者をできるだけ早期に置いて、より便利に、魅力的な空間に変えていきたい

一般質問

西林 薫 議員



## 公民館図書室について

**西林** 絵本に精通した大勢の方が、「いい絵本が揃っている」と選書を高く評価する公民館図書室が町民会



町民会館1階に移設された公民館図書室

館の1階にリニューアルオープンした。想像力を育てるために読書や読み聞かせはとても大切。図書室を図書館にする考えは。  
**教育次長** 公民館の図書室として、質を上げて図書館に近づけていきたい。

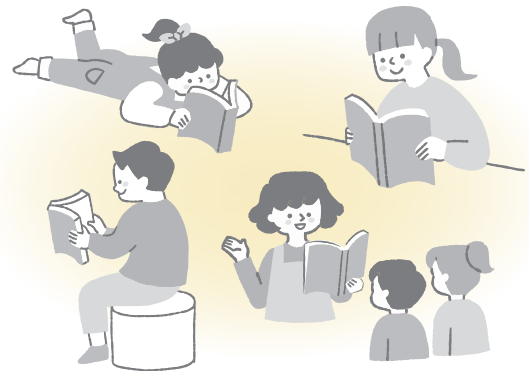
**西林** レファレンスサービス（資料や情報を求めている人と適切な情報源を担当者が手助けをして結びつけるサービス）を充実させるため、図書室に専任の担当者配置する考えは。

**町長** 専任の担当者をできるだけ早期に置いて、新しい図書室をより便利に、魅力的な空間に変えていきたい。

**西林** 学校でチラシを配ってもらえない。図書室を町の情報拠点にする考えは。

**教育次長** 町民会館を使つての情報拠点ということとは考えられる。

**西林** 県立図書館など大きな図書館で借りて、町民会館で返すことはできるか。



**教育次長** できない。公民館図書室を通じて依頼した本は図書室で返すことができる。

**西林** 図書室の基本計画を策定する考えは。

**町長** 基本計画の策定は考えていないが、委員会を立ち上げる。

## 放課後児童クラブについて

**西林** 4月から放課後児童クラブの体制が変わり、要件を満たす子対象の「通常利用」と、遊ぶ機会や居場所の提供としての「特別

利用」（火・木曜）となる。児童クラブの、将来を見据えた方向性は。

**町長** 要件に合致する児童は、町が責任をもつて全て受け入れる。特別利用については、利用者の枠があるので、通常利用を圧迫しないようにしていく。

**西林** 特別利用の方向性については。

**町長** 週2日の特別利用は試験的な運用と考えている。様子を見たい。

**西林** 児童クラブの今後の展開は。

**町長** 町民のボランティアに遊びを教えてもらう。英会話も取り入れたい。

**西林** 町で子どもを町民会館まで送って、いびづなっ子クラブを放課後に実施する考えは。

**教育次長** 今までどおり実施。送迎は保護者をお願いしたい。

**西林** 児童館を整備する考えは。

**町長** 児童館を新たに整備する考えはないが、子どもが安全に遊べる場所を考えていく必要がある。



# 指定管理者制度

## 管理体制の強化により適正な運営を

### 副町長 | 管理資質を高める職員研修を検討

一般質問



飯田 安彦 議員

**多目的交流施設に係る  
管理体制の見直しを**

**飯田** いいづなコネクト EASTのイベントで天然芝の汚損事案があった。芝生損傷リスクの想定は、**企画課長** 一定の想定をしていたが、降雨により想像以上にグラウンドの排水が悪く、車両が乗り入れた際に芝生に影響が出てしまった。今後は、天候にかかわらず駐車場としての利用は原則禁止としていく。

**飯田** これまでにルールはなかったか。

**企画課長** 損傷時の原状回復責任および費用負担については、指定管理者との協

定に基本的な規定を設けている。今回の事象については、指定管理者が復旧作業を行っており、現状を見守ることとしているが、今後はより明確なルールを策定し、双方が適切に履行できる体制を整備していく。

**多目的交流施設に係る  
地域配慮の充実を**

**飯田** いいづなコネクト WESTの玄関及び駐車



駐車場として使用したため汚損したEASTの天然芝

場の冬季間の凍結による危険性や、駐車場利用における騒音や排気ガス等、周辺環境について苦情がある。指定管理者からの事業報告書に、そのような記載はあるか。

**企画課長** 事業報告書には、収支の状況、利用者からの意見・要望、イベントの実施状況等の情報が記載されている。町民から寄せられた苦情や意見も重要な指標

**監督責任のある町職員  
の能力向上を**

として考慮している。

**飯田** 事業報告書に地域配慮の項目を。

**企画課長** 地域への配慮等の項目を増やしていく。

**部活動の地域移行支  
援への予算を**

**飯田** 指定管理者の監督権限がある町職員が監査手法などの研修を。

**副町長** 監査能力を高めるためにも来年度に向けて検討する。

**飯田** 部活動の地域移行支援について、保護者の送迎の負担、クラブチームへの月謝が負担などの意見が挙がっている。活動場所が、町内・町外にかかわらず子供1人1人に向けた補助金を交付し、子供の体験と学びを支援することに予算を付ける考えは。

**町長** 長野市のみらいハッピーケンプロジェクトのような形で近隣市町村と連携してできればと検討している。





# 高齢者虐待

## 虐待した方にも支援を

### 町長 | 精神的支援も必要、対応も

**伊藤** 毎年、高齢者への虐待が報告されているが、今年度の状況は。  
**保健福祉課長** 地域包括センターを中心に、介護施設や病院などの関係機関と連携を図って、早期発見と迅速な対応を促進している。  
 現時点で令和7年度の相談件数は3件、虐待として把握している件数は1件。  
**伊藤** 虐待をした方々もケアが必要な状況ではないか。  
**町長** 虐待をした人たちの精神的なケアも必要だと思ふので、対応していくべきと考える。



伊藤 まゆみ 議員

一般質問

### 8年度予算の重点施策は

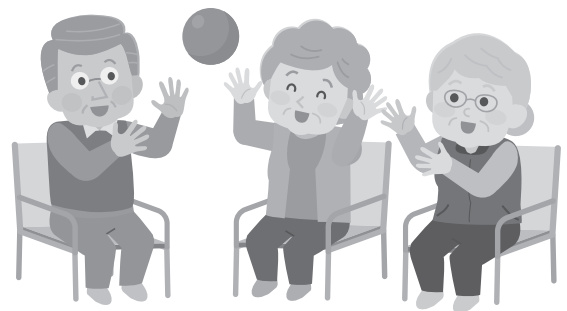
**伊藤** 所信実現のために、来年度はどのような施策を行うか。

**町長** 所信表明では、町民の声に真摯に耳を傾けて、町民目線で調整を進める。安心と挑戦を意識して、町民が安心して暮らせるまち作りを進める。

未来に投資して、小さい町だからできる新たな挑戦を続けて誇りと希望を持てるまち作りを進めると表明した。

令和8年度予算のテーマは、暮らしやすい飯綱町をデザインする暮らし最優先予算とし、町民が暮らしやすくして便利な町と実感するような予算にした。

まず、子育てに優しいまちを作っていく。  
 安心して暮らせるまち作りのための施策。  
 未来へ投資をして産業振興で元気なまちをつくるための政策。  
 商工観光関係と人口関係にも力を入れたい。



### デイサービスセンターの更新は

**伊藤** 牟礼デイサービスセンターもふれあいの園も指定管理施設であり、施設の機器や備品の更新を重ねながら運営されている。自宅を過ごしたい高齢者を支えるため、大きな役割を果たしているが施設の更新について、検討していく時期では。

**副町長** 社会福祉協議会、保健福祉課で、十分協議を重ねる中で今後の方向性を研究していくべき課題と認識している。

### 飯綱病院の外科医師の確保を

**伊藤** 4月から外科の常勤医師がいなくなる。医業収入に影響が出てくるのでは。  
**事務長** 小児科、外科、産婦人科、麻酔科、救急のそれぞれの課が抱える特性が非常にあり、全国的にも医師の減少が進んでいる。  
 医師招聘は必須であり、全力で取り組んでいく。



経営改善取組中の飯綱病院



# 霊仙寺湖に新しいにぎわいを サッカー場整備の方向性

**町長** | 未来への投資として実施していきたい

一般質問

山崎 雄一 議員



## 運動場建設の経費と 経済波及効果は

**山崎** 霊仙寺湖周辺にサッカー場建設について、建設費、建設後のランニングコスト（運営経費）及び建設したことによる町への経済波及効果について伺う。

**産業観光課長** 建設費は約18億円規模の事業となる。財源は返済負担の軽くなる、辺地債（自治体が行う有利な借入方法）を活用し、実質金額は利子を含め2億円に抑える。運営経



飯縄山、霊仙寺湖に続く観光資源に

費は、年間約2100万円。利用料収入は500万円と見込み、差し引き1600万円が年間の経費。また、企業版ふるさと納税を活用し年間経費はさらに軽減できると考える。経済波及効果は、東高原エリアの集客増を年間1万人と見込み、宿泊や観光消費を含めて、年間約2億円の効果を想定している。初期投資や運営経費を見据えながら、周辺自治体と連携を強めて事業を進め、将来世代に良い基盤を残すよう取り組む。

## 将来世代の負担と 町の展望は

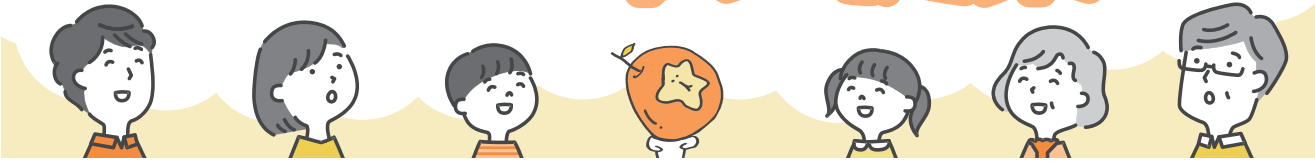
**山崎** 人口減少傾向が続く中で霊仙寺湖周辺の運動場が必要と判断した理由は。将来世代への負担も含めて説明を求める。

**町長** 人口減少が進む中でも、町の魅力を高める観光資源の整備は不可欠だと考える。関係人口の増加は移住促進や、ふるさと納税の増加にもつながり、農業所



町民からプロまで使う施設で新たなにぎわいを

得向上や、町内での経済循環にも寄与する。また、運動場建設に並行して、周辺道路の整備も進み、町内インフラの充実にもつながる。この事業は本町単独ではなく広域連携で進めている取り組み。将来世代には負担を残すのではなく、それ以上メリットを生み出すよう取り組む。規模の大きな事業ではあるが、勇気を持って、未来への投資に挑戦していく。



## 安心の医療体制と、親子で集える大型遊具の設置について



若林 雄太 さん  
(普光寺)

新体制となった町政に、子育て世代として大きな期待を寄せています。特に町長が飯綱病院への小児科設置を考えていただいているとお聞きして、実現すれば「子育ての町」としての魅力がより一層高まり、定住促進にも大きく寄与すると確信しています。

また、自然豊かな環境を活かし、子供たちが世代を超えてのびのび遊べる拠点の充実を提案します。いづなコネクト等の既存施設も素晴らしいですが、例えば霊仙寺湖の芝生広場に、幼児から小学生までが夢中になれる大型遊具を設置してはいかがでしょうか。シンボルとなる遊び場があれば、休日の町内交流はもちろん、町外からの誘客や活気創出にも繋がるはずです。

医療と遊び場の両面から、子供たちの笑顔がさらに増える町づくりをぜひ推進してください。

## 英語力全国1位の町を目指して



宮原 一篤 さん  
(栄町)

「やり方次第で、誰でも英語力は伸ばせませう」英語が苦手だった私は今年3月、町の検定料補助制度を活用し英検2級を受検しました。飯綱町のこの補助制度は近隣市町村にはない画期的な取り組みです。この強みを活かして「小学生のうち英検5級を全員が取得すること」を提案します。国は中学3年で3級5割以上を目標に掲げていますが、飯綱町はまだ届いていません。(2027年度までに6割目標)しかし小学校での英語学習210時間を活かし、この補助制度を全小中学生に周知。学校単位で受検できる体制を整えれば、英語力全国1位のさいたま市(中3の3級レベル89%)に肩を並べることも夢ではありませぬ。

私の妹は、アプリとオンライン英会話を活用し、小学2年生で2級に合格しました。学習の工夫と町の支援があれば、可能性は無限大です。官民一体となって、飯綱町を日本一の英語の町にしましょう！

## 小中学生に町内での活動の場を!



桃沢 逸美 さん  
(上村)

私の周りで複数の習い事への送迎が大変とよく耳にすることがあります。私にも現在小学生、保育園児の3人の子ともがいます。

そこで町への提案としていづなコネクトWESTやEAST、町民会館の空き教室を町が借り上げ、小中学生の為の放課後の習い事(例えば英会話、習字、そろばん、学習塾等)を教えたい人に場所を貸出し、学校からバスで送る。迎えは保護者、送迎の『送』の負担が減るだけでも親の負担を少しは減らせるのではないかと思います。バスの運転手や担い手、場所、燃料等の問題は多々出てくると思います。しかし、これは何をしようとも起こりうる問題だとも思います。小学生、中学生にとって町内で活動できる場が少しでも増えればと思います。



## 飯綱町水道事業の理解へ ～概要説明と現場視察で知見を深める～

令和7年12月19日(金)

総務産業常任委員会視察研修

- 場 所 土橋水源取水施設、日向浄水所配水池築造工事現場、クリーン飯綱  
飯綱町役場
- 説 明 者 各担当職員
- 参 加 総務産業常任委員会委員ほか
- 研修内容：飯綱町水道事業を理解すべく、令和6年上下水道決算書を基に、建設水道課より概要の説明を受け、町内関係施設を視察し、知見を深めた。今回の視察研修により、飯綱町の上下水道事業は水源整備や配水池整備など基盤整備が進む一方、老朽化対策や広域化、水道料金見直しなど多くの課題を抱えていることを再認識した。下水処理施設では、限られた人員と予算の中で安定運用を図る工夫や維持管理の重要性、人材確保の必要性を実感。今後は更新計画の明確化や住民への丁寧な説明、広域連携の検討を進め、持続可能な事業運営に向けて委員会として提言していく必要がある。



クリーン飯綱の施設を視察

## 議会だよりがつなぐ議会と町民

令和8年2月4日(水)

議会報編集調査特別委員会研修

- 場 所 飯綱町役場
- 講 師 芳野政明氏（議会広報サポーター）
- 参 加 議会報編集調査特別委員会委員ほか
- 研修内容：議会だよりの目的や役割といった本質的な視点から、読みやすくするための具体的なポイントまで学んだ。議会だよりは、町民が議会を身近に感じ、議会とのつながりを実感していただくための大切な情報発信である。この研修を受け、委員会では編集方針の見直しや運用工程の作成を行った。議会報編集調査特別委員会は、より読みやすく、分かりやすい議会だよりをお届けできるよう、今後も取り組んでいく。



議場での研修会

# 地方議会の視点から学ぶ ～他自治体議員を招いて～

令和8年2月15日(日)

飯綱町議会新人議員研修

- 場 所 飯綱町役場
- 講 師 中村明文氏(長野県地方自治研究センター 理事長)  
小林純子氏(元安曇野市市議会議員)
- 参 加 新人議員ほか

## ■ 研修内容:

テーマ① 「飯綱町議会財政研修会」: 中村明文氏をお招きし、決算状況の分析について学んだ。飯綱町の予算を適切に検証するためには、財政分析の視点が欠かせない。決算状況から読み取れる課題や傾向について具体的にご講義いただき、財政を多角的に見る重要性を学んだ。3月定例会では予算に関する議決が多く含まれることから、予算審議に向けた基礎知識を深めることができた。

テーマ② 「一般質問・質疑の組み立て方」: 学校教員の経験を持っている小林純子氏に講義していただいた。地方議会の特性である二元代表制の仕組みと、その中で議会が果たすべき役割を丁寧に解説いただいた後、一般質問・質疑の組み立て方について実践的に学んだ。町の現状と問題の原因を分析し、客観的データや先進地の事例を示しながら解決の道筋を提案することが、建設的な答弁につながる。良い答弁を引き出すための一般質問の構成を学ぶ、貴重な研修となった。

# 男女共同参画社会の実現に向けて

令和8年2月27日(金)

上水内北部議会協議会(飯綱町議会・信濃町議会)

- 場 所 JA ながの飯綱支所 2階会議室
- 講 師 血脇秀明氏(長野県男女共同参画センター所長)
- 参 加 飯綱町議会議員、信濃町議会議員

■ 研修内容: 男女共同参画社会の実現をテーマとした研修では、長野県内の市町村議会における女性議員の割合が全体で19.4%、飯綱町35.7%、信濃町8.3%と差があること、また市町村職員の女性管理職の割合も全体14.3%に対し信濃町30.8%、飯綱町0%と偏りが見られることが示された。男女共同参画の推進には、固定的な性別役割意識の解消とともに、個人の努力だけでなく社会全体の意識改革と構造的な見直しが不可欠であり、誰もが能力を発揮し自分らしく生きられる社会づくりが求められている。



ワークショップで学びを深める

## 長野広域連合議会

※長野広域連合は長野市・飯綱町など3市6町村が参加する広域組織でごみ処理等の事務を行っている。

# 次期一般廃棄物最終処分場の候補地 決定延期について

2月3日の広域連合理事会では、「地蔵久保か中条のどちらかに決めるとしていた候補地決定を1年延期し、建設の要否（建設する必要があるかどうか）を含めて再検討する」との方針が決定され、これまでの前提が大きく見直されました。町広報紙いづな通信4月号（第245号）に詳しく報じられています。2月20日に開催された長野広域連合議会において、飯綱町議会選出の議員が理事者および事務局の考え方を質しました。今回の見直しは、処分場の規模縮小、あるいは建設の必要性そのものを含めた重要な局面です。



2月20日、長野広域連合議会での一般質問の様子

### 【質疑①】埋め立て品目の見直し

これまで次期処分場は6品目を埋め立てる計画だったが、どう見直されるのか。

【答 弁】 溶融飛灰は令和8年度から外部処理となる見込みであり、次期処分場については実質的な埋め立て対象物である2品目（溶融スラグ、溶融不適物）で再整理する。

### 【質疑②】埋め立て量の見直し

現在の年間1,906トンから、再資源化が進んだ場合どこまで減少するのか。

【答 弁】 溶融不適物の再資源化が進み、埋め立て対象が溶融スラグのみとなった場合、年間約811トンまで減少する可能性がある。これは当初計画容量（154,000m<sup>3</sup>）の約1/20に相当する。さらに条件によっては、より小規模となる可能性もある。

### 【質疑③】再検討の手順とスケジュール

今後どのように検討を進め、判断していくのか。

【答 弁】 年間埋め立て量と期間から必要容量を再算定し、建設費・維持管理費と全量外部搬出費を比較、リスクも含めて検討する。検討状況は構成市町村へ随時提示し、令和9年2月の理事会で最終決定する。

# 議会モニターアンケート Q&A

多くのモニターの皆さんから、声を寄せていただきありがとうございます。紙面の都合で全部を掲載できませんが、主な意見とそれに対する回答・見解です。

**Q** 各議員の意見や考え方をどんどん発信してほしいです。

**A** 各議員の考え方は賛否表である程度見て取れると思います。一般質問のページで各議員の考え方がわかると思います。

**Q** 表紙の雪の被ったリンゴ畑。飯綱町らしい風景でよかったです。

**A** 表紙について多くの好意的な意見をいただきました。これからも飯綱町らしい表紙を心がけていきます。

**Q** 子育てについてもっと力を入れて取り組んでほしいです。議員をやってきた方の経験、新しい議員の方がたくさんいるので、新しい目線で頑張っていってほしいです。

**A** 子育て世代にも寄り添った施策を行えるよう推し進めてまいります。ぜひとも具体的な提案などありましたらお寄せください。

**Q** 以前の議会だよりに比べ断然読みやすくなりました。レイアウト、文字を減らした工夫が感じられます。

**A** ありがとうございます。まず手に取って開いてもらい、目を通していただくことがスタートです。これからも多くの方に読んでいただけるよう取り組んでまいります。

**Q** 議員の年齢が若くなり、女性も多くなり、身近な生活環境改善が多くなりがちですが、中長期的なビジョンをもって取り組んでください。

**A** 年代も幅広くなり様々な視点を持てる議員構成だと思えます。この構成だからこそ、町民の皆さんの意見をより多く汲み取りながら進めてまいります。

**Q** 学ぶ議会、モニターアンケート、Q & A、町民の声は継続して掲載してもらいたいです。

**A** 「学ぶ議会」では議員研修の報告、「アンケート、Q&A」ではモニターさんの声を、議員が回答し、「町民の声」では議員が依頼して町民の皆様に執筆頂いています。どれも議会報の中で、関心が高いコーナーです。皆様にも原稿依頼の際はぜひとも協力お願いいたします。

**Q** 近隣市町村議員との意見交換会などありますか。

**A** 信濃町、小川村議会との交流勉強会は定期的に行っています。議会だよりの「学ぶ議会」にも議会の活動報告をしています。詳細は今号掲載のP 9「事業計画」をご覧ください。



**Q** 定例会の内容で賛否一覧の「議案」、「陳情」、「発議」の違いや意味を教えてもらえたら理解しやすいです。

**A** 「議案」⇒議会で決めてほしい内容、「陳情」⇒お願い、(請願は議員の紹介がある場合)、「発議」⇒議員が案を作り議会に提出することです。

議会用語と呼ばれるものは日常生活ではなじみのないことが多いです。可能な限り、わかりにくい語句には意味も併記して読みやすくなるよう改善していきます。

## 6月定例会予定

6月1日～6月19日(19日間)

一般質問

6月3日(水)・6月4日(木)

常任委員会

6月5日(金)・6月8日(月)

Voice

# 生の声

42

議会だよりモニター

### 議員の情報発信を期待して



相沢 亮さん  
(高坂)

昨年  
の町議  
会選挙  
で新人  
議員さ  
んが多  
くなり  
、フレ  
ッシュ  
な

議会になったと感じております。そこで提案ですが、是非、議会だより等で、議員さんの紹介等を掲載していただけないでしょうか。私も含め町民の方々がより議員さんを知ることが重要だと思えます。各議員さんの政策や意見が伝わりやすくなると思えます。

新しい町長と議会で、これからの飯綱町がより良くなる為には、私たち町民の町政に対する関心、意識の向上が必要だと思えます。是非とも飯綱町議会では、活発な議論と発信をお願いいたします。

## Reader Survey



飯綱町PRキャラクター「みつどん」

### 読者アンケート

皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

## Editorial Committee

### 編集委員

委	委	委	委	副	委	発
員	員	員	員	委員	員	行人
長	長	長	長	長	長	長
小	近	山	清	吉	丸	瀧
林	藤	崎	水	澤	山	野
一	正	雄	寿	裕	麻	良
成	正	一	彦	昭	衣	枝

## Cover Photo



撮影：山崎まほさん

### 82号表紙説明

新たな一步を踏み出す子どもたちの背中。互いに支え合いながら歩むその先に、明るい未来がありますように。こどもたちの健やかな成長を、地域とともに支えていきます。

## Editor's Note

### 編集後記

今号の編集作業に入る前には、議会報研修会や編集方針の見直し、運用工程の作成をしました。皆様にはわかりやすく正確な情報をお届けできるよう委員会話し合いました。

議会報の研修会では、限られた紙面の中で議会の内容を分かりやすく伝えるために、見出しの表現や文字の大きさ、ことばの表現の工夫などを教わり、編集作業ではあらゆる角度から読みやすい議会だよりにするために奮闘しました。

編集作業のいま、花粉症ではない私は春の陽気を楽しんでいます。今号が出る頃には鮮やかな緑の世界ですね。(吉澤)